

平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ウイズ
 コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 横井昭裕
 (氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年5月期第3四半期 | 1,488 | 15.2 | △56 | — | △54 | — | △56 | — |
| 24年5月期第3四半期 | 1,292 | △23.1 | △151 | — | △147 | — | △194 | — |

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 △53百万円 (—%) 24年5月期第3四半期 △197百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年5月期第3四半期 | △18.29 | — |
| 24年5月期第3四半期 | △63.04 | — |

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して1株当たり四半期純利益等を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年5月期第3四半期 | 2,243 | 1,351 | 60.2 |
| 24年5月期 | 2,550 | 1,404 | 55.1 |

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 1,351百万円 24年5月期 1,404百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年5月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 25年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 25年5月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,400 | 18.8 | 15 | — | 15 | — | 10 | — | 3.25 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、平成25年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年5月期3Q | 3,081,600 株 | 24年5月期 | 3,081,600 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年5月期3Q | — 株 | 24年5月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年5月期3Q | 3,081,600 株 | 24年5月期3Q | 3,081,600 株 |

(注) 当社は、平成24年12月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合で株式分割をおこなっておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |
| (5) セグメント情報等 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は、緩やかな回復傾向を示しつつも、円高・デフレ基調は引き続き継続していました。しかしながら、当該期間に発足した新たな政権による財政・金融政策への期待感から、為替は一転円安基調となり、国内株式も上昇しました。また、それらを含め一部経済指標等においても回復の兆しが見え始めてきています。ただし、新興国の成長鈍化、欧州債務不安等の問題は引き続き存在し、先行きの不透明な状況が残っております。

このような状況のもと、玩具業界全体では、一部の人気キャラクター関連商品及び定番商品の販売等が引き続き好調であり、最大商戦期であるクリスマス・年末年始商戦についても、前年同期に比較して、底割れすることなく堅調に推移しております。

当社グループは、厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減及び基幹事業であるOEM製品販売に経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するために事業を推進しております。

OEM製品販売におきましては主力である「たまごっち」シリーズは、平成24年11月23日に発売された新シリーズ「Tamagotchi P's」を始め、引き続き好調に推移し、計画を上回る状況となっておりますが、その他の一部のOEM製品シリーズ及びオリジナル商品販売が前年同期より減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、14億88百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

利益面におきましては、営業損失は56百万円（前年同期は1億51百万円の営業損失）、経常損失は54百万円（前年同期は1億47百万円の経常損失）、四半期純損失は56百万円（前年同期は1億94百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億6百万円減少し、22億43百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品の増加90百万円があった反面、現金及び預金が3億15百万円、受取手形及び売掛金が24百万円、商品及び製品が11百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ2億53百万円減少し、8億92百万円となりました。これは、主に長期借入金が1億88百万円、支払手形及び買掛金が40百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ53百万円減少し、13億51百万円となりました。これは、主に当第3四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少56百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において、「たまごっち」シリーズ等のOEM製品販売を初めとして概ね、計画通りに進捗しているため、通期における連結及び個別の業績予想につきましては、平成24年7月5日に公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループには、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

OEM製品販売においては、組織の効率化・最適化を図るとともに、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」「ブリキア」シリーズ関連製品を中心として、その他の新規商材及び新規顧客についても積極的に受注活動をおこない、売上高の拡大を目指しております。また、オリジナル商品販売におきましても、流行の把握及び販売時期の判断等を従前以上に的確におこない、売上高の増加に結びつけるべく継続的な営業活動に取り組んでおります。

② 固定費の削減

平成24年4月に実施しております本社移転等により、当連結会計年度においても、引き続き固定費の削減が見込まれております。

③ 資金繰りへの対応

現在の事業方針から、投資及び出資等の多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましても、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

以上により、平成25年5月期における業績見込は概ね予定どおりとなる見込みであり、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,250,279 | 934,977 |
| 受取手形及び売掛金 | 449,126 | 424,431 |
| 商品及び製品 | 57,123 | 45,565 |
| 仕掛品 | 22,646 | 28,559 |
| 原材料及び貯蔵品 | 32,422 | 122,577 |
| その他 | 62,120 | 22,207 |
| 流動資産合計 | 1,873,718 | 1,578,317 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 56,938 | 47,085 |
| 無形固定資産 | 3,888 | 3,093 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 518,129 | 517,887 |
| その他 | 98,054 | 97,748 |
| 貸倒引当金 | — | △311 |
| 投資その他の資産合計 | 616,183 | 615,324 |
| 固定資産合計 | 677,010 | 665,502 |
| 資産合計 | 2,550,729 | 2,243,820 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 92,209 | 51,936 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 251,460 | 223,705 |
| 賞与引当金 | — | 10,124 |
| その他 | 81,973 | 46,995 |
| 流動負債合計 | 525,643 | 432,760 |
| 固定負債 | | |
| 長期未払金 | 265,526 | 265,526 |
| 長期借入金 | 286,240 | 125,400 |
| 退職給付引当金 | 66,292 | 67,158 |
| その他 | 2,031 | 1,702 |
| 固定負債合計 | 620,090 | 459,788 |
| 負債合計 | 1,145,734 | 892,549 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 555,235 | 555,235 |
| 資本剰余金 | 587,435 | 587,435 |
| 利益剰余金 | 274,583 | 218,226 |
| 株主資本合計 | 1,417,253 | 1,360,896 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △303 | 185 |
| 為替換算調整勘定 | △11,954 | △9,810 |
| その他の包括利益累計額合計 | △12,258 | △9,625 |
| 純資産合計 | 1,404,995 | 1,351,271 |
| 負債純資産合計 | 2,550,729 | 2,243,820 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 1,292,428 | 1,488,619 |
| 売上原価 | 770,710 | 956,272 |
| 売上総利益 | 521,718 | 532,346 |
| 販売費及び一般管理費 | 673,132 | 588,755 |
| 営業損失(△) | △151,413 | △56,409 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 258 | 236 |
| 受取配当金 | 414 | 1,135 |
| 為替差益 | 8,185 | 8,224 |
| 持分法による投資利益 | 1,029 | — |
| その他 | 2,280 | 219 |
| 営業外収益合計 | 12,168 | 9,816 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,238 | 6,962 |
| 持分法による投資損失 | — | 833 |
| その他 | 857 | — |
| 営業外費用合計 | 8,096 | 7,796 |
| 経常損失(△) | △147,340 | △54,389 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 77 |
| 固定資産除却損 | — | 129 |
| 事務所移転費用 | 38,871 | — |
| 減損損失 | 7,840 | — |
| 特別損失合計 | 46,711 | 207 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △194,052 | △54,596 |
| 法人税等 | 197 | 1,760 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △194,249 | △56,357 |
| 四半期純損失(△) | △194,249 | △56,357 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △194,249 | △56,357 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 44 | 489 |
| 為替換算調整勘定 | △2,888 | 2,143 |
| その他の包括利益合計 | △2,843 | 2,633 |
| 四半期包括利益 | △197,093 | △53,724 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △197,093 | △53,724 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)

当社グループは、報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

前連結会計年度において、アミューズメント事業を営んでいた株式会社ウイズダムを清算し、当社グループは、おもちや事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。